

計画事業番号	00292	事務事業名	家庭教育支援事業	担当部署	教育部社会教育課	電話	4844
--------	-------	-------	----------	------	----------	----	------

## 【基本情報】

事務区分	■自治事務 □法定受託事務	根拠法令等	教育基本法第10条第2項 社会教育法第5条第7項				
事務事業開始年度	平成24年度	個別計画等	北広島市教育基本計画2011-2020				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単区分	単独	新規継続区分	継続

## 【事業概要】

1 総合計画体系	(第 2 章) 人と文化を育むまち						
	(第 3 節) 家庭・青少年健全育成の推進						
	(施策 1 ) 家庭の教育力向上への支援の充実						
2 対象	中学生以下の児童・生徒及びその保護者						
3 目的と内容	<p>&lt;目的&gt; 家庭の教育力向上のため、関係する団体などと連携し、家庭教育支援に関する実践活動・交流活動を行う。</p> <p>&lt;概要&gt; 平成24～平成26年度において実施した「きたひろしま生活シート」の調査結果を基に家庭教育に関する実践・啓発活動を実施する。 子どもたちの学力・体力の低下の背景には、生活習慣が深く関係していることが指摘されていることから、生活習慣の改善に向けた体験事業や乳幼児健診やマタニティスクールの機会に保護者を対象とした啓発資料の配布、講習会を開催し家庭の教育力、生活力向上の底上げを図る。 通学合宿の実施を生涯学習振興会や家庭教育サポート企業等と共に検討する。</p>						
4 実施内容 (手段)	28年度まで	「子ども朝活」事業を拡大し、市内4地区で実施する。 家庭教育支援に関する講演会を実施する。 広報啓発活動を実施する。					
	29年度	「子ども朝活」事業の名称を子どもの生活リズム向上事業に変更し、市内4地区で実施する。 家庭教育学習会支援事業を実施する。 広報啓発活動を実施する。					

## 【事業の計画・実績】

平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催	「子ども朝活」事業の実施 講演会の実施 広報啓発活動の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施	家庭教育支援実践活動推進事業の実施 家庭の教育力・生活力の向上にむけた講習会の開催 「子ども生活リズム向上事業」の実施

## 【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成30年度に向けた具体的な方向性		評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状維持とする。		
1次評価	現状継続	少子化や核家族化の進行、携帯電話やスマートフォンの普及などの影響を受け、青少年を取り巻く環境や家庭教育の在り方については複雑さを増している状況にある。生活習慣の向上や自立心の育成など、家庭での教育力向上のための支援を行うことが必要であることから、現状継続とする。		
2次評価	現状継続	現状継続とする。		

「拡大」  
「現状継続」  
「要検討」  
「見直し」  
「統合」  
「休止・廃止」  
「終了」

**【事業費の推移】**

(単位:千円)

			平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			376		373		480		480	
事業額	直接事業費	国支出金	0		0		0		0	
		道支出金	0		248		0		0	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	376		125		480		480	
	① 合計	376		373		480		480		
	人件費 (左側:一般、 右側:再任用)	② 人数(年間)	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00	0.02	0.00
	③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	
	④ =②×③	168	0	168	0	168	0	168	0	
総事業費①+④			544		541		648		648	

**【評価指標】**

指標名			単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
活動指標	①子ども生活リズム向上事業実施事業数	目標値	件	12	12	12	12
		実績値					
	②講演会・講習会の開催数	目標値	件	1	2	2	2
		実績値		1			
③	目標値						
	実績値						
成果指標	①生活リズム向上事業実施率 【指標の定義(算式等)実績/目標】	目標値	人				
		実績値					
	②講演会・講習会参加者 【指標の定義(算式等)講演会等の参加者数】	目標値	人	100	50	50	50
		実績値		20			
③	目標値						
	実績値						

**【評価項目】**

チェック項目	評点	コメント
<b>妥当性</b> ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか? ・上位の施策への貢献度は大きいですか? ・特定の団体の利益に偏っていませんか? 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	青少年の健全育成を図る上で、家庭教育は重要な要素であり、家庭の教育力向上に向けた取り組みは妥当である。
<b>達成度</b> ・計画どおりに成果があがっていますか? 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	2	家庭教育に関する講演会及び啓発を行うことは手段として有効であるとともに、子ども生活リズム向上事業を通して、家庭での共通話題の提供など、概ね成果を上げている。
<b>成果向上</b> ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	学校・家庭・地域が一体となった取り組みが必要であることから、連携・協働体制の強化を図る。
<b>経済性</b> ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありますか? 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	コスト削減は困難である

<b>【法律で実施が義務付けられている事務事業か】</b>	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
<b>【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 <input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。	